

千葉労働局長による建設工事現場の安全パトロールを実施しました

～令和6年度 全国安全週間の一環として実施～

全国安全週間中の7月2日、千葉労働局長は、労働災害防止対策の取組を確認しました。

また、7月・8月は令和6年度「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間であり、現場の取組等について、意見交換を行いました。

パトロール工事現場：幕張若葉計画B4街区作業所

施工者：株式会社熊谷組 東京建築支店

所在地：千葉市美浜区若葉3丁目1-13

出席者：千葉労働局長 岩野 剛

千葉労働基準監督署長、千葉県産業安全衛生会議構成機関

【パトロール概要】

作業所長から工事概要について説明を受けた後に現場巡視を始めました。

巡視では、現場で工夫して講じられている熱中症対策、高所作業が安全に行われているか、転倒予防の対策が講じられているかなど、災害防止対策が適切に行われているか、千葉労働局長が直接確認しました。



タワークレーン搭載のカメラから撮影

【Coolwork】

現場巡視中、工事概要等について説明がありました。

この現場では、夏季については、朝礼の場所を屋外から屋内に変更して少しでも直射日光を受けないようにしていると熱中症対策について、千葉労働局長は説明を受けました。

作業者は「CoolworkCHIBA」のステッカーをヘルメットに貼り、朝礼に参加していました。

作業中に「CoolworkCHIBA」のステッカーを別の作業者が見た際に水分補給を喚起する等の効果が期待されました。



朝礼場所の説明を受ける千葉労働局長(右)



【墜落防止対策】

現場の最上階における墜落防止対策について説明がありました。

千葉労働局長は、ベランダバルコニーについて、地上において手すりを事前に設置した上で現地に設置する墜落防止対策等について、説明を受けました。

【WBGT値の見える化】

熱中症指標計を現場に設置して熱中症リスクの見える化を図っていました。

現場の熱中症指標は、スマホやタブレットで確認できるようになっていると作業所長から説明がありました。

また、外国人労働者の就労支援にも取り組んでおり、多様な言語（ベトナム語ほか4か国語）で注意点の周知を行っていました。



熱中症指標計を説明する作業所長(中央)



ヘルメット、靴の洗浄機

【労働衛生対策】

爽快感もクールワークのための重要な要素と考えているそうです。

【女性活躍・ 男性の育児休業】

活き活き活躍している女性の監督員が印象的でした。

この現場で育児休業を取得した男性から、自身の体験及び昨年度の社内の男性の育児休業の取得率は57.8%であったこと等について説明がありました。



要請を行う千葉労働局長（左）

【要請文交付】

最後に、千葉労働局長より、作業エリアに日影が少ない屋外作業であることなどを踏まえ、熱中症予防の重点取り組み期間における熱中症予防対策の徹底について要請を行いました（別添要請文）。

【パトロール後の局長所感】

今週は、昭和3年以来、今年で97回目となる全国安全週間です。

令和6年のスローガンは、

危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全です。

今回巡視した工事現場においても、建設業において最も死亡災害の発生比率の高い墜落・転落災害の防止を強く意識し、建材の組付けに先行して手すりを設置する等積極的な措置を講じていました。

また、今年度当局において、熱中症の注意喚起のために打ち出しているロゴ



のステッカーを作業者に配布し、保護帽に貼付して作業を行っていました。

これは、ペットボトルを飲んでいる姿のイラストを模したCoolworkのロゴを見た水分補給を意識していなかった作業者にも、水分補給を意識してもらうための試みです。

また、建設業における人手不足の解消のため、男性の育児休業の取得促進や女性が活躍できる環境づくりに取り組んでいることも確認できました。

千葉労働局としては、引き続き安全第一の文化を受け継いでいただくとともに、全国安全週間を契機にさらなるゼロ災害への機運を醸成を図りたいと思っています。